

美術教育の危機と再生に向けて

—学会の使命と運営の持続可能性を考える—

大学美術教育学会理事長 新関 伸也 (東海大学)



全国の教育現場では今、美術教育をめぐる静かな、しかし着実な危機が進行しています。特に国立大学における美術教員養成の現場では、教員志望者の減少、教員採用枠の縮小、大学教員の減員・不補充といった問題が複合的に絡み合い、美術を学び教える人材の育成と確保がかつてない困難に直面しています。

現場からは、中高における専任教員の不在、美術免許を持たない教員による「免外授業」の常態化、そして教員の世代交代がうまく機能せず若手が孤立する例も多数報告されています。

一方、大学においても教職課程の再編や教職大学院制度の導入により、美術教育の専門性を保障する学びの場が減少しています。制作や鑑賞、理論的探究をバランスよく育む時間や空間が失われる中で、「美術で教える・学ぶ」ことの意味が学生に伝わりにくくなっていることも深刻な課題です。

さらに地方では、大学と地域社会、教育行政とのつながりが希薄になり、かつて大学教員が支えていた研究会や公開授業、現職研修などの知的交流の機会が減少しています。教員養成の現場が地域の教育実践と断絶してしまえば、美術教育が社会と接続し、持続可能なカタチで展開していくことは困難です。

こうした状況を受け、私たち大学美術教育学会・美術部門に課された役割は、これまで以上に大きくなっています。

第一に、全国の大学、教育委員会、学校、文化機関をつなぐ連携ネットワークの構築と支援です。地域に根差した大学の取り組みや研究成果を可視化・共有し、附属学校や地域教育機関との共同研究、実践発表、公開研究会の再構築を通じて、学術と実践をつなぐ橋渡し役を担う必要があります。

第二に、政策提言機能の強化です。教員採用や教育環境の実態調査に基づき、教員定数や免許制度、教職課程における美術の専門性の位置づけについて、教育行政や関連機関に対する建設的な提言を行っていくことが制度改善への第一歩となります。現在、美術教育系学会や美術教育関係諸団体、企業が参集し結成した「全日本美術教育会議」で、次期の「学習指導要領改訂」に向けて、美術教育の意義と今後のあるべき姿を訴える「提言書」をとりまとめ、間もなく文部行政関係各位に提出する予定です。

第三に、若手教員や学生が未来に希望を持てる学びの場の創出です。ICTやSTEAM教育などを視野に入れた新たなカリキュラムの開発、現職教員との協働プロジェクト、大学間連携による公開授業やシンポジウムの開催を通じて、美術教育の魅力と可能性を広く社会に発信していくことが学会・部門の重要な使命です。

また、別件となりますが、現在、学会の持続的な運営体制の確立に向けて、業務内容の精査を進めております。次世代へと円滑に引き継げる学会運営の枠組みや、役員に対するインセンティブについても検討中であり、予算との兼ね合いを踏まえつつ、今年度中には一定の結論を出す予定です。

あわせて、美術部門の会費廃止が決定されました。これにより、美術部門に対する大学・学部の機関加盟の認識が高まり、名簿作成の精緻化に向けた一步を踏み出したこととなります。今後は、地域に根差した部門各地区会の役割が一層重要となるとともに、「全国美術部門協議会」の在り方も変化していくことが予想されます。これらの動きは、学会と地域とのつながりを再構築する契機となるでしょう。

美術教育を取り巻く現状は決して楽観できるものではありません。しかし、私たちはこれを衰退ではなく、再生への契機と捉えたいと考えます。美術教育の本質は、まさに変化の時代に発揮される創造性と応答性にあります。だからこそ、現場とつながり、対話を重ね、共に未来を構想する知的基盤として、大学美術教育学会・美術部門が果たすべき役割は今後ますます重要になると確信しています。

会員の皆さまには、それぞれの現場において、また学会や美術部門の活動を通じて、次代の美術教育を支える担い手の育成にご参画いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

令和6年(2024)度 大学美術教育学会 理事・各種委員会委員一覧

- 理事長 新関 伸也* (東海大学 R6-R7)
- 副理事長 芳賀 正之* (静岡大学 R6-R7)
- 小池 研二* (横浜国立大学 R6)
- 顧問 任命なし

■総務局

- 総務局長 松尾 大介* (上越教育大学 R6-R7)
 - 副総務局長 手塚 千尋* (明治学院大学 R6-R7) 福井 一真* (愛媛大学 R5-R6)
 - 藤井 康子* (大分大学 R6-R7) 村田 透* (滋賀大学 R6-R7)
 - 総務局理事 永江 智尚 (愛知教育大学 R5-R6) 和田 学 (岩手大学 R6)
 - 市川 寛也 (群馬大学 R5-R6) 平野 真紀 (常磐会短期大学 R5-R6)
 - 総務局事務 高林 未央
- *印: 運営委員

■地区全国理事

- [北海道] 伊藤 隆介 (北海道教育大学 岩見沢校 R5-R6) 南部 正人 (北海道教育大学旭川校 R6-R7)
- [東北] 小林 俊介 (山形大学 R5-R6) 長瀬 達也 (秋田大学 R6-R7)
- [関東] 林 耕史 (群馬大学 R5-R6) 栗田 真司 (山梨大学 R6-R7)
- [北陸] 小笠原文 (福井大学 R5-R6) 大村 雅章 (金沢大学 R6-R7)
- [東海] 永江 智尚 (愛知教育大学 R5-R6) 川原崎 知洋 (静岡大学 R6-R7)
- [近畿] 竹内 晋平 (奈良教育大学 R5-R6) 前芝 武史 (兵庫教育大学 R6-R7)
- [四国] 尹 智博 (香川大学 R5-R6) 佐々木 昌夫 (愛媛大学 R6-R7)
- [中国] 池田 吏志 (広島大学 R5-R6) 赤木 里香子 (岡山大学 R6-R7)
- [九州] 喜久山 悟 (熊本大学 R5-R6) スプリー ティトゥス (琉球大学 R6-R7)

■私立大学全国理事

- 大成 哲雄 (聖徳大学 R5-R6) 鳥越 亜矢 (中国短期大学 R6-R7)

■大会運営委員

- 江藤 望 (金沢大学 R5-R6) 神野 真吾 (千葉大学 R6-R7)

■監事

- 青木 善治 (滋賀大学 R6-R7) 竹内 晋平 (奈良教育大学 R6-R7)

■学会誌委員会 (R5年度 15名) ※R4年度 16名

- 委員長 小池 研二 (横浜国立大学 R5-R6)
- 副委員長 西村 德行 (東京学芸大学 R6-R7) 蜂谷 昌之 (広島大学 R5-R6)

R5-R6年度委員

- 青木 善治 (滋賀大学) 江藤 望 (金沢大学) 齋江 貴志 (群馬大学) 丁子 かおる (和歌山大学)
- 本田 悟郎 (宇都宮大学) 幸 秀樹 (宮崎大学) 小橋 暁子 (千葉大学)

R6-R7年度委員

- 新関 伸也 (東海大学) 井坂 健一郎 (山梨大学) 清田 哲男 (岡山大学)
- 平野 英史 (埼玉大学) 吉川 暢子 (香川大学) 佐藤 絵里子 (弘前大学)

令和6年（2024）度 委員会活動報告

■ 学会誌委員会

1. 『美術教育学研究』第57号について

本年度の投稿本数は71編（昨年度58編）であった。

11月3日に横浜国立大学サテライト教室で第2回学会誌委員会を開催した。会議において、第1回査読結果について確認後、追加査読対象となった原稿を委員で査読し、その結果について委員全員で審議を行い、掲載・条件付き掲載・不掲載を決定した。

最終結果：掲載40編（掲載率56.3%）※昨年度39編・掲載率67.2%

内訳：掲載4編，条件付き掲載36編（第1回査読条件付き掲載31編・追加査読による条件付き掲載5編），取り下げ1編（第1回追加査読による条件付き掲載）、不掲載30編（第1回査読不掲載6編・追加査読による不掲載23編）

2. 学会誌委員会等の開催について

(1) 中西印刷との打ち合わせ（令和6年5月22日，オンライン）

諸調整事項を確認。内容を運営委員会・総務局会に報告。

(2) 第1回学会誌委員会（令和6年9月13日，金沢大学，対面・オンライン併用）

学会誌委員顔合わせ，運営日程等確認

(3) 第1回幹事会（令和6年9月13日，対面）

(4) 第2回幹事会（令和6年11月3日，横浜国立大学サテライト教室）

(5) 第2回学会誌委員会（令和6年11月3日，横浜国立大学サテライト教室）第1回査読結果の確認，掲載・条件付き掲載・不掲載の決定

(6) その他 不定時幹事会（メール審議等），正副委員長と中西印刷との調整等

3. 今年度総括と今後の検討事項

(1) 編集係（中西印刷）の業務進行は例年通りスムーズであり，それによって学会誌委員会の進行もスムーズであった。

(2) 57号の掲載論文は56号より1編多い結果となった。投稿本数は13編多かったが掲載率は56.3%と昨年度より10.9ポイント低くなった。

(3) 日本美術教育学会，美術科教育学会と本学会では，相互に投稿論文の題目及び投稿者の情報を交換し，二重投稿等の投稿倫理にかかる問題が生じていないかの確認を今年度も行った。今年度は二重投稿の疑義が生じる論文はなかった。複数の学会に投稿される場合には，疑義が生じないように十分に配慮するように今後も更に周知していく予定である。

4. その他

(1) 学会誌細目の変更

美術科教育学会・大学美術教育学会・日本美術教育学会（以下，三学会）で，投稿者（学会員）が各学会誌に論文を投稿する際のメリットを鑑みて，三学会の学会誌投稿論文規程等の共通化について，令和5年5月から令和6年2月にかけて，引用文献等の取り扱い等を三学会で統一するよう検討を続けてきた結果，「参考文献・註の表記」ならびに「図・表の表記」の統一について

合意した。本件については、投稿論文執筆細目を変更し 58 号から適用されることが 9 月 13 日の第 1 回理事会で決定した。新しい執筆細目については、1 月に一斉メールで学会員に周知された。

(2) 大学美術教育学会誌「美術教育学研究」の科学技術情報発信・流通総合システム (J-STAGE) での即時公開に関する対応について

2024 年 2 月 16 日に統合イノベーション戦略推進会議で決定された「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」に対応するため 2025 年 3 月発行予定の第 57 号から即時公開に切り替えることとした。このことに伴い、投稿規程に論文等の公開について項目を追加することとした。本件については 3 月 4 日の第 2 回理事会で決定した。

文責 小池

令和6年(2024)度 理事会報告

令和6年度 第1回 大学美術教育学会理事会 議事録

日時：2024年9月13日 15:30～17:10（部門役員会および学会理事会）

開催形式：ハイブリット会議（対面、オンライン併用）

場所：金沢大学角間キャンパス 総合教育講義棟3階 B3 講義室・Zoom 併用

出席者：

【対面出席】新井・代表、赤木・副代表、新関・理事長、芳賀・副理事長、小池・副理事長、松尾・総務局長、村田・副総務局長、藤井・副総務局長、福井・副総務局長、総務局員（永江、市川、和田）高林・総務局事務、江藤・大会運営委員、神野・大会運営委員、青木・監事、地区全国委員（栗田、林、小笠原）西村・学校美術教育支援委員会委員長、私立大学全国理事（大成、鳥越）

【オンライン】地区全国委員（南部、長瀬、小林、川原崎、竹内、前芝、池田、喜久山）

進行：松尾大介（総務局長）

書記：高林未央（総務局事務）

I あいさつ

開会の辞：議事に先立ち、芳賀・副理事長より開会の辞がなされた。

理事長挨拶：議事に先立ち、新関・理事長より、挨拶がなされた。

II 報告事項

1 令和6年度学会員登録状況

福井・副総務局長より令和6年度 学会会員登録状況の報告がなされた。

2 令和6年度 学会役員・各種委員会委員

松尾・総務局長より、資料「令和6年度 大学美術教育学会 役員・各種委員会委員一覧」に基づき、報告がなされた。

3 令和5年度 事業報告

松尾・総務局長より、資料「令和5年度 大学美術教育学会 事業報告」に基づき、報告がなされた。

4 令和6年度 学会員名簿

福井・副総務局長より、学会員名簿について説明がなされ、会員登録情報の変更がある場合は各自で行ってもらうよう依頼がなされた。

5 学会各種委員会

(1) 学会誌委員会

小池・学会誌委員会委員長より、三学会の学会誌投稿論文規定の共通化について、三学会の各理事会・委員会等での審議を経て令和7年度投稿論文から、註、参考文献表記、図表の表記等で統一をはかることの説明がなされ、総会で報告し順次会員にも浸透させていくことの報告がなされた。

6 大学美術教育学会 第62回金沢大会 日程及び内容

江藤・大会運営委員より、金沢大会の日程及び内容について説明がなされた。

III 協議事項

1 (R6-R7年度) 代表・理事長および副代表、副理事長について【共通】(代表：新井浩、理事長：新関伸也) 松尾・総務局長より、代表が新関・理事長から新井・代表に交代する提案に伴い、規定を変更することの説明がなされた。また、選考委員会で理事長・部門の選考委員会の規定を変更し、これに従って6月11日に選挙を行い、承認されたことの説明がなされた。以上が令和6年度総会にて審議・決定がなされることが報告された。

2 令和5年度決算、令和6年度 事業計画(案)・予算(案)

(1) 令和5年度 学会決算

芳賀・副理事長より、資料「令和5年度 大学美術教育学会 決算」に基づき説明がなされ、承認された。

(2) 令和5年度 学会監査

青木・幹事より、資料「令和5年度 大学美術教育学会 監査報告書」に基づき説明がなされ、承認された。

(3) 令和6年度 学会事業計画(案)

松尾・総務局長より、資料「令和6年度 大学美術教育学会 事業計画」に基づき学会事業計画案についての説明がなされ、承認された。

(4) 令和6年度 学会予算(案)

芳賀・副理事長より、資料「令和5年度 大学美術教育学会 予算案」に基づき大会記録集はPDFでの発行となること等の説明がなされ、承認された。

3 次年度以降の全国大会開催大学

松尾・総務局長より配布資料「全国大会開催の記録と予定」に基づき次年度以降の全国大会開催大学について、2025年度は千葉大学となる旨の説明がなされた。

4 総務局から

(1) 『旅費に関する申合わせ』について

松尾・総務局長より、資料を基に旅費に関する申し合わせについての説明がなされ、今年度は運営費補助金という形で一律一万円を支給する形とした旨の説明がなされ、承認された。

5 令和6年度 学会会報

市川・総務局員より、令和6年度学会会報について、報告がなされた。

6 造形芸術教育協議会(3学会連携)について

新関・理事長より、10月6日に次期学習指導要領にむけて9団体が提言書をまとめる流れがあり、今年度中に美術教育造形教育の役割についてのエビデンスをまとめていきたい旨の説明がなされ、承認された。

IV あいさつ

閉会の辞：小池・副理事長より、閉会の挨拶がなされた。

令和6年度 第2回 大学美術教育学会理事会 議事録

日時：2025年3月4日 13:00～15:00

開催形式：オンライン会議

出席者：新関・理事長、新井・代表、赤木・副代表、芳賀・副理事長、小池・副理事長、松尾・総務局長、副総務局長（村田、手塚、藤井、福井）、総務局員（永江、市川、平野）、高林・総務局事務、大会運営委員（江藤、神野、小橋）、青木・監事、地区全国委員・地区全国理事（南部、伊藤、長瀬、小林、栗田、林、大村、小笠原、河原崎、前芝、池田、スプリー、喜久山）、西村・学校美術教育支援委員会委員長、鳥越・私立全国理事

進行：松尾大介（総務局長）

書記：高林未央（総務局事務）

I あいさつ

開会の辞：芳賀・副理事長より開会の辞がなされた。

理事長挨拶：新関・理事長より挨拶がなされた。

II 報告事項

1 次年度（令和7年度）部門・学会の運営体制について

※資料1【案】R7年度部門・学会役員各種委員会名簿 250224_0303 修正

新関・理事長より、事前配布資料に基づき、新役員の説明がなされた。また、来年度大会運営委員として南部・地区全国委員が担当して頂ける旨の説明がなされた。

2 大学美術教育学会 全国大会

(1) 第63回大学美術教育学会 金沢大会の報告

江藤・大会運営委員より、令和6年9月14日・15日における金沢大会について、一般131名学生29名、計160名の参加、無事終了したこと等についての報告がなされた。

(2) 第64回大学美術教育学会 千葉大会9月13・14日（案）について

神野・大会運営委員より、開催日時について、令和7年9月12日（前日会議）、9月13日（大会1日目）・14日（大会2日目）になること、13日に協議会（未定）とシンポジウム、懇親会、14日に総会が入ること、口頭発表とポスター発表が行われることの説明がなされ、了承された。

手塚・副総務局長より、大会参加費の支払い方法等について Peatix を用いたい旨の提案がなされた。

松尾・総務局長から、全国地区理事に対し、地区に千葉大会の周知と学会発表を登録する際には、発表概要の記載例に即して登録することを地区会で周知するよう依頼がなされた。

3 各種委員会の活動報告

(1) 学会誌委員会

※資料7-1 大学美術教育学会 三学会会報等掲載文書「学会誌投稿論文規程等の共通化について」確定版

※資料7-2 大学美術執筆細目改訂

小池・学会誌委員会委員長より、事前配布資料を基に、三学会の学会誌投稿論文規定等の共通化について総会で合意を得られたので、メールで配信した旨の報告がなされた。また、今年度の学会誌編集については、後日メールで報告する旨の説明がなされた。

4 総務局から

(1) 部門・学会の財務について

芳賀・副理事長より、中西印刷へ会計業務委託をした関係で決算書は4月以降になるため、報告は来年度になる旨の説明がなされた。また、今年度の大会記録集は印刷ではなく PDF で共有した旨の説明がなされた。

(2) 総務局からのお願い

※資料2 総務局からのお願い 20240307

松尾・総務局長より、事前配布資料に基づき、次年度千葉大会での前日会議への出席、議長団の選出をお願いしたい旨の説明がなされた。また、登録メールアドレスの確認、地区全国委員・理事の選出、各種委員の選出、部門名簿の整理修正についてお願いしたい旨の説明がなされた。

新関・理事長より、部門の名簿について地区全国委員に、今後は課程認定に関わる教員の掲載に向けて協力

いただきたい旨の補足説明がなされた。

5 造形芸術教育協議会（3学会連携）の開催について

新関・理事長より、当日資料を基に、10月27日に開かれた造形芸術教育協議会について報告がなされた。論文の書き方講座の共同開催について、3月の会議で検討することが説明された。来年度は日本美術教育学会が幹事であり、新関・芳賀・新井が出席予定である旨の説明がなされた。

6 「全日本美術教育会議」について

新井・代表より、全日本美術教育会議では、次期学習指導要領の改定に向けて提言書をまとめていること、その団体の中には美術教育に関わる8団体、日本美術家連盟も参加、美術の教材関係の会社が入っていることなどの説明がなされた。オブザーバー参加が可能なオンラインでの会議であり、参加を希望する方は事前に連絡するよう説明がなされた。

新関・理事長より、当日配布資料に基づき、提言書の内容についての説明がなされた。

III 協議事項

1 学会誌委員会

・J-STAGEでの学会誌即時公開について

※資料8 大学美術教育学会誌「美術教育学研究」科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）即時公開について（0224修正）2025.3.0.0

小池・学会誌委員会委員長より、事前配布資料を基に、即時公開について、学会誌は出版1年後に公開していたが、2025年3月発行予定の57号から即時公開し、投稿規定にその内容を追加する旨の説明がなされ、承認された。そして、会員に一斉メールでの周知がなされることの説明がなされた。

2 「旅費支払いに関する申合わせ（改定案）」について

※資料5【改定案】旅費申合わせ

松尾・総務局長より、配布資料を基に、旅費の支払いの申し合わせの改訂について説明がなされ、承認された。

新関・理事長より、他の学会のように役員のインセンティブとして大会参加費や論文投稿費を免除することを検討したい旨の意向が示された。

IV その他

1 全国大会開催の予定

松尾・総務局長より配布資料を基に説明がなされ、承認された。

V あいさつ

閉会の辞：小池・副理事長より、閉会の辞がなされた。

令和6年（2024）度 総会報告

令和6年度 大学美術教育学会 総会 議事録

日時：2024年9月15日（日）14：50～15：40
場所：金沢大学角間キャンパス 総合教育講義棟3階 B4 講義室
進行：江藤
書記：高林

1. 挨拶

新関・理事長より挨拶がなされた。

2. 議長団選出

議長に群馬大学林、副議長に香川大学吉川が選出された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 令和6年度 役員・各種委員等

松尾・総務局長より、大会冊子の「令和6年度 大学美術教育学会 役員・各種委員会委員一覧」に基づき、報告がなされた。

(2) 令和5年度 事業

松尾・総務局長より、大会冊子の「令和5年度 大学美術教育学会 事業報告」に基づき報告がなされた。

(3) 令和5年度 決算

芳賀・副理事長より、別紙資料「令和5年度 大学美術教育学会 決算」に基づき決算の説明がなされた。

(4) 令和5年度 監査

竹内・監事より、別紙資料「令和5年度 大学美術教育学会 監査報告書」に基づき、報告がなされた。

(5) 学会誌委員会

小池・学会誌委員会委員長より、3学会の学会誌投稿論文既定の共通化について、経緯が説明され、令和7年度からの学会誌において統一されることの報告がなされた。

(6) 令和7年度 開催大学

神野・大会運営委員より、令和7年度開催大学（千葉大学）について報告がなされた。

【協議事項】

(1) 令和6－7年度 理事長・副理事長（案）

松尾・総務局長より提案（次期理事長：新関伸也）がなされ、承認された。

(2) 令和6年度 事業計画（案）

松尾・総務局長より、大会冊子の「令和6年度 大学美術教育学会 事業計画」に基づき説明がなされ、承認された。

(3) 令和6年度 予算（案）

芳賀・副理事長より、別紙資料「令和6年度 大学美術教育学会 予算案」に基づき説明がなされ、承認された。

4. 議長団解任

議長団が解任された。

5. 閉会の辞

小池・副理事長より、閉会の辞がなされた。

令和5年（2023）度 大学美術教育学会 決算

予算対比正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

大学美術教育学会
一般会計

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	5,572,000	5,156,152	415,848
国内正会員	5,568,000	5,152,152	415,848
当年度会費	5,568,000	4,728,000	840,000
過年度会費	0	424,152	△ 424,152
国内購読会員	4,000	4,000	0
当年度会費	4,000	4,000	0
事業収益	1,500,000	1,170,000	330,000
学会誌事業	1,500,000	1,170,000	330,000
掲載負担金	1,500,000	1,170,000	330,000
経常収益計	7,072,000	6,326,152	745,848
(2) 経常費用			
事業費	3,550,000	3,630,115	△ 80,115
学術集会事業	1,150,000	1,249,513	△ 99,513
補助金	250,000	250,000	0
概要集印刷費	800,000	647,935	152,065
大会案内状印刷費	100,000	71,676	28,324
大会案内状等発送費	0	160,134	△ 160,134
その他印刷	0	119,768	△ 119,768
学会誌事業	2,400,000	2,380,602	19,398
学会誌印刷費	2,000,000	1,705,000	295,000
学会誌郵送費	0	153,563	△ 153,563
その他印刷	0	63,283	△ 63,283
通信運搬費	0	3,562	△ 3,562
編集委員会費	400,000	455,194	△ 55,194
管理費	4,859,000	4,650,839	208,161
業務委託費	3,679,000	3,414,270	264,730
大会受付業務委託費	500,000	530,420	△ 30,420
事務支局業務委託費	2,079,000	2,052,600	26,400
学会誌編集委託費	800,000	481,250	318,750
総務局事務委託費	300,000	350,000	△ 50,000
運営費	100,000	66,000	34,000
旅費交通費	500,000	891,632	△ 391,632
運営委員会・拡大総務局会	300,000	756,500	△ 456,500
諸会議・打合せ	200,000	135,132	64,868
通信運搬費	200,000	55,020	144,980
支払手数料	10,000	5,940	4,060
消耗品費	0	110	△ 110
印刷製本費	220,000	203,467	16,533
その他印刷	0	110,374	△ 110,374
会報	200,000	71,610	128,390
名簿刊行	20,000	21,483	△ 1,483
事務費	150,000	14,400	135,600
経常費用計	8,409,000	8,280,954	128,046
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,337,000	△ 1,954,802	617,802
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,337,000	△ 1,954,802	617,802
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,337,000	△ 1,954,802	617,802
一般正味財産期首残高	7,649,036	7,649,036	0
一般正味財産期末残高	6,312,036	5,694,234	617,802
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,312,036	5,694,234	617,802

令和6年（2024）度 大学美術教育学会 予算

令和6年度 予算

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

大学美術教育学会
一般会計

(単位：円)

科 目	前年度決算額	予算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	5,156,152	5,572,000	415,848
国内正会員	5,152,152	5,568,000	415,848
当年度会費	4,728,000	5,568,000	840,000
過年度会費	424,152	0	△ 424,152
国内購読会員	4,000	4,000	0
当年度会費	4,000	4,000	0
事業収益	1,170,000	1,500,000	330,000
学会誌事業	1,170,000	1,500,000	330,000
掲載負担金	1,170,000	1,500,000	330,000
経常収益計	6,326,152	7,072,000	745,848
(2) 経常費用			
事業費	3,630,115	3,075,000	△ 555,115
学術集会事業	1,249,513	785,000	△ 464,513
補助金	250,000	50,000	△ 200,000
概要集印刷費	647,935	385,000	△ 262,935
大会案内状印刷費	71,676	100,000	28,324
大会案内状等発送費	160,134	150,000	△ 10,134
その他印刷	119,768	100,000	△ 19,768
学会誌事業	2,380,602	2,290,000	△ 90,602
学会誌印刷費	1,705,000	1,800,000	95,000
学会誌郵送費	153,563	200,000	46,437
その他印刷	63,283	80,000	16,717
通信運搬費	3,562	10,000	6,438
編集委員会費	455,194	200,000	△ 255,194
管理費	4,650,839	3,997,000	△ 653,839
業務委託費	3,414,270	3,358,600	△ 55,670
大会受付業務委託費	530,420	500,000	△ 30,420
事務支局業務委託費	2,052,600	2,008,600	△ 44,000
学会誌編集委託費	481,250	500,000	18,750
総務局事務委託費	350,000	350,000	0
運営費	66,000	66,000	0
旅費交通費	891,632	250,000	△ 641,632
運営委員会・拡大総務局会	756,500	200,000	△ 556,500
諸会議・打合せ	135,132	50,000	△ 85,132
通信運搬費	55,020	65,000	9,980
支払手数料	5,940	10,000	4,060
消耗品費	110	1,000	890
印刷製本費	203,467	220,000	16,533
その他印刷	110,374	120,000	9,626
会報	71,610	80,000	8,390
名簿刊行	21,483	20,000	△ 1,483
事務費	14,400	26,400	12,000
経常費用計	8,280,954	7,072,000	△ 1,208,954
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,954,802		
評価損益等計	0		
当期経常増減額	△ 1,954,802		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 1,954,802		
一般正味財産期首残高	7,649,036		
一般正味財産期末残高	5,694,234		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	5,694,234		

令和5年(2023)度事業報告

6月11日(日)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月23日(金)	学会誌「論文投稿案内」郵送 「香川大会(対面開催)案内」郵送
6月30日(金)	「学会会報 No. 41」発行・郵送・HP掲載
7月3日(日)	「香川大会(対面開催)」ホームページ開設、 メール配信
8月21日(月)	大学美術教育学会「香川大会」研究発表申込 締切・発表概要原稿提出締切
9月5日(火)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月9日(土)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月17日(日)	令和4年度会計監査 (河西監事・新野監事)
9月22日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 大学美術教育学会理事会(ハイブリット会 議)
9月23日(土) ～9月24日(日)	第62回大学美術教育学会「香川大会」(対 面開催)：学会開催式(香川大学)、研究発表、 講演会、学会総会、学会閉会式、大会開催大 学引継ぎ(次期開催大学-金沢大学)
10月15日(日)	第14回造形芸術教育協議会(オンライン会議)
11月6日(月)	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最 終提出は可否決定後4週間以内)
12月11日(月) (令和6年)	「香川大会概要集・記録集」郵送
1月31日(水)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳 守)
2月29日(木)	第3回運営委員会、第4回総務局会(オン ライン会議)
3月10日(日)	第15回造形芸術教育協議会(オンライン会 議)
3月14日(木)	第2回学会理事会(オンライン会議)
3月31日(日)	「学会誌・第56号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会(メール会議)等 を随時開催

令和6年(2024)度事業計画

4月5日(月)	「金沢大会(対面開催)」ホームページ開設、 メール配信
6月3日(月)	第1回運営委員会、第1回総務局会 (オンライン会議)
6月3日(月)	「金沢大会(対面開催)案内」郵送
6月26日(水)	学会誌「論文投稿案内」郵送 「学会会報 No. 42」発行・郵送・HP掲載
8月19日(月)	大学美術教育学会「金沢大会」研究発表申 込締切・発表概要原稿提出締切
8月30日(金)	第2回運営委員会、総務局会 (オンライン会議)
9月5日(火)	「投稿論文」締切(消印有効)
9月4日(水)	令和5年度会計監査 (青木監事・竹内監事)
9月13日(金)	大会前日諸会議：第3回総務局会、第1回 大学美術教育学会理事会(ハイブリット会 議)
9月14日(土) ～9月15日(日)	第63回大学美術教育学会「金沢大会」(対 面開催)：学会開催式(金沢大学)、研究発 表、講演会、学会総会、学会閉会式、大会 開催大学引継ぎ(次期開催大学-千葉大学)
10月6日(日)	全日本美術教育会議
10月27日(日)	第16回造形芸術教育協議会(オンライン会議)
11月6日(水)ま で	投稿論文の掲載可否の決定(投稿論文の最 終提出は可否決定後4週間以内)
12月13日(月) (令和7年)	「金沢大会協議会報告・講演会記録」HP掲 載
1月31日(金)	投稿論文掲載者による掲載負担金納入(厳 守)
2月24日(月)	第3回運営委員会、第4回総務局会(オン ライン会議)
3月4日(火)	第2回学会理事会(オンライン会議)
3月9日(日)	第17回造形芸術教育協議会(オンライン会議)
3月31日(日)	「学会誌・第56号」発行・郵送
	*上記のほか、運営委員会(メール会議) 等を随時開催

令和6年(2024)度 日本教育大学協会全国美術部門・ 第63回 大学美術教育学会 金沢大会報告

令和6年度 日本教育大学協会全国美術部門 及び 第63回 大学美術教育学会 金沢大会

開催日：2024年9月14日(土)・15日(日)

主催：日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会

報告：大会実行委員長 鷲山 靖(金沢大学 教授)

令和6年度 日本教育大学協会 全国美術部門、並びに第63回大学美術教育学会「金沢大会」を9月14日(土)・15日(日)に金沢大学にて開催いたしました。金沢大会は「美術教育の不易と流行」をテーマに美術教育の教員養成・理論研究・実践研究を捉え、更なる美術教育の学的確立・その深化を追求するとともに、図画工作科・美術科教員養成に係る課題を共有し協議する大会を目指しました。

初日は日本教育大学協会全国美術部門開会式に続いて日本教育大学協会全国美術部門 協議会、口頭発表、講演会、懇親会を開催し、翌日は口頭発表、ポスター発表、総会を実施しました。

協議会は「図工・美術科教員養成における今日的地域課題と展望」をテーマに掲げ、福島大学の新井浩部門代表(彫刻)をコーディネーターに静岡大学の芳賀正之先生(美術科教育)、滋賀大学の村田透先生(美術科教育)、弘前大学の冨田晃先生(美術科教育)、群馬大学の林耕史先生(彫刻)の4名の先生から地域が抱える教員養成の課題、地域との関係に関する課題等の事例を紹介いただきました。教員養成のあり様の変化が余儀なくされている今、国立大学としての図工・美術科教員養成の意義とは何か、変化にいかに対応すべきか、図工・美術科が果たすべき役割等について協議がおこなわれました。

講演会は「アーツカウンシル金沢」の統括ディレクターである黒澤伸氏をお招きし、「"オープンエンドである" ことについて」をテーマにご講演いただきました。「アーツカウンシル金沢」が取り組む「子どもアーツプログラム」や「お届けアーツプログラム」を通じて、派遣されたアーティストと子どもたちの間に予想もしなかった様々な相乗効果が生まれている状況についてスライドやビデオにより説明があり、学校内外で豊かに育まれている黒澤伸氏の「美術教育の不易と流行」について、お話を伺う貴重な機会となりました。

お陰様で口頭発表48件・ポスター発表12件の研究発表は活況を呈し、ポスター発表会場は意見交換の熱気に包まれました。令和6年1月1日の能登半島地震の復旧・復興が進む中、全国から多くの会員諸氏を迎えて対面で開催するとともに賑やかな懇親会を復活できたことは、実に感慨深いものがあります。大会運営にあたり、大学美術教育学会の総務委員の先生や北陸地区の先生に協力を頂きながら無事に本大会を終了できましたこと、改めて参加者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(わしやま・やすし)

令和7年(2025)度 日本教育大学協会全国美術部門・
第64回 大学美術教育学会 千葉大会

大会テーマ「Art に回帰する」

- 企画・運営 千葉大会実行委員会
- 主催 日本教育大学協会全国美術部門・大学美術教育学会
- 共催 国立大学法人千葉大学教育学部

1. 千葉大会の概要

令和7年度日本教育大学協会 全国美術部門・第64回 大学美術教育学会「千葉大会」を対面で開催いたします。口頭発表、ポスターによる研究発表、シンポジウムなどが開催されます。奮って御参加の程、心よりお待ちしております。

千葉大会(対面開催)

令和7年 9月 13日(土)・14日(日)

千葉大会専用ページ <https://www.chiba2025.com/>

2. 会場

千葉大学 西千葉キャンパス 教育学部2号館
〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

3. 日程・内容

- 9月12日(金): 大会前日の諸会議
- 9月13日(土)9:30 ~: 協議会・シンポジウム・口頭発表・懇親会(交流会)
- 9月14日(日)9:00 ~: 総会・口頭発表・ポスター発表

4. 参加費・懇親会費

〈参加費〉 会員・一般 [事前申込 4,000円] [通常 5,000円]

院生・学生 [事前申込 2,000円] [通常 3,000円]

※院生には現職教員も含まれます。

〈懇親会費〉 会員・一般・院生・学生 [事前申込 3,500円] [通常 4,000円]

※演題登録は中西印刷「ORSAM」、参加登録は「Peatix」で行います。

5. 参加・発表申込

■ 申込方法

・千葉大会専用ページより申し込みください。

■ 申込期日

参加登録(事前申込) 6月23日(月)10:00 ~ 8月18日(月)24:00

演題登録 6月23日(月)10:00 ~ 8月18日(月)24:00

※事前申し込み以降の参加費は5,000円(会員・一般)、3,000円(院生・学生)となります。

詳しくは千葉大会専用ページ <https://www.chiba2025.com/> を御覧ください。

お知らせ

会員情報(メールアドレス)の更新のお願い

経費削減ときめ細やかな会員サービスの実現のために、学会からの連絡の一部を可能な限り電子メールに移行しています。会員の皆様には電子メールアドレスに変更等がありましたら、随時、システムより会員登録情報の更新をお願いします。なお、2025年6月2日より、新オンライン会員情報管理システム（clara）が稼働しています。

■更新方法

- ①大学美術教育学会会員情報管理システム（新）（clara）ログイン画面を開く
<https://clara-nacos.com/uaesj/login>
- ②「メールアドレス」と「パスワード」を入力。
(パスワードを紛失した場合は、ログイン画面より再発行が可能です。)
- ③メールアドレスに送付される2段階認証の番号を入力。
- ④会員登録情報をクリック。
- ⑤修正したら、確認をクリック。
- ⑥登録変更のご連絡（自動配信メール）が届いたら変更完了。

年会費の支払いに関するお願い

大学美術教育学会は、皆様の年会費により運営されています。年会費の支払いにご協力ください。

滞納されている方は、早めに納入してください。なお、払込取扱票の再発行はいたしかねます。未納額が不明な場合には、会員様ご自身でオンライン会員情報管理システム clara より会費納入状況をご確認いただけます（メールによるお問い合わせにも、従来通り対応致します）。また、領収書は clara から発行が可能です。

■振込先

口座番号：00980-6-203000
加入者名：大学美術教育学会

学会員の名簿について

大学美術教育学会の会員名簿については、パスワード付 PDF をホームページの会員情報に掲載しています。下記の方法で PDF をダウンロードし、『会員情報』確認と更新のお願い（学会誌投稿案内と同封で郵送）に記載してあるパスワードを入力してご確認ください。なお、clara のパスワードとは異なりますのでご注意ください。

■会員名簿（PDF ファイル）のダウンロード

- ①日本教育大学協会全国美術部門・大学美術学会のホームページを開く。
<https://www.uaesj.com/>
- ②次の順でメニュー等をクリックする。
「大学美術教育学会」→「会員情報」→「大学美術教育学会 会員情報名簿」
- ③ダウンロードしたら、パスワードを入力。

問い合わせ先について

大学美術教育学会では、平成 26 年度以降、業務の一部をアウトソーシング（中西印刷株式会社に業務委託）しております。つきましては、会員管理・会費に関するお問い合わせは、大学美術教育学会事務支局（中西印刷内）へ、その他については、総務局へお問い合わせください。

■会員管理・会費関連に関するお問い合わせ

大学美術教育学会事務支局
（中西印刷株式会社内）
Tel:075-415-3661
e-mail:uaesj@nacos.com

■総務局へのお問い合わせ

総務局専用電子メールアドレス
e-mail:daibibumon@uaesj.com

【総務局広報担当】

松尾大介（上越教育大学）
手塚千尋（明治学院大学）
藤井康子（大分大学）
村田 透（滋賀大学）
家崎 萌（鳴門教育大学）
河西栄二（岐阜大学）
高林未央（総務局事務員）